



子ども達に寄り添って教えている、家庭科教室の風景

## 家で眠っている古着も人も 活用して環境を守る

**まゆの会**

私たち「まゆの会」は1991年の発足以来、消費者(生活者)の立場から環境問題に取り組んでいます。現在は毎週第一、第三金曜日にパルシティ江東で、リフォーム教室、環境学習会などを開催。タンスに眠っている古着などを再利用して衣服や小物を作ったり、レジ袋の削減をめざして古傘でバッグを作るなどの活動を行っています。また、家にこもりがちな高齢者にも古着の提供を呼びかけ、社会への参加

を促しています。古いシーツ、タオル、絹の衣類などは20センチ四方に裁断して老人施設に送り、おしぼり代わりに利用してもらって好評を得ています。



まゆの会代表  
町田 ムツ子さん

問合せ ☎ (3683)0702

## 子ども自身が遊びを工夫し、 のびのび遊べる場を提供

**アソビバ江東**



(上の写真)木と木の間に掛け渡したネットのハンモックで、夢中になって遊ぶ子どもたち。(下の写真)世話人の指導で、七輪を使ったべっ甲船づくり。「危ない」火を使うことも貴重な体験となる。

今の子どもたちには自由に遊べる場がありません。私たちは、都の許可をいただき、都立猿江恩賜公園の一画で毎月第三日曜日に、子どもたちが集まって遊べる場を提供しています。子ども自身が自然の素材を使って遊びをつくっていく「冒険遊び場」という考え方にに基づき、ビー玉やギンナンなどを焼く七輪、木登り用に掛けたロープ、大きなネットのハンモックなどを用意。子どもたちが楽しく遊べるだけでなく、通りかかった大人やお年寄りも交えて、「遊び場」はみんなのふれあいの場にもなっています。



アソビバ江東代表  
矢野 めぐみさん

問合せ ☎ (3631)0941

※活動日はブログでご確認下さい。  
<http://plaza.rakuten.co.jp/asobibakoto>

## 男女共同参画自主学习に講師料を助成!!

男女共同参画の推進や女性の社会参加、地位の向上に役立つ自主的な学習会、講演会などについて講師料を助成します。

【助成金額】講師謝礼として、1グループ年1回、1事業20,000円まで。

【対象団体】5人以上で、区内在住・在勤の会員が3分の2以上の自主的団体。※ただし、他の制度から助成金、補助金を受けている場合は利用できません。

【申請方法】学習会等の実施日の3週間前までに下記へ所定の申請書類を提出。

【申請・問合せ先】人権推進課(区役所4階1番 ☎3647-1163)

## 少年犯罪・非行の防止に 女性の立場から貢献

**江東区更生保護女性会**



私たちは女性の立場から、犯罪や非行のない地域社会の実現をめざすボランティア団体で、現在約400人の会員がいます。主な活動は、少年の犯罪・非行防止のための世論啓発活動、更生保護施設や矯正施設への協力活動(少年の更生サポート)です。また、少人数の対話集会を開催し、身近な家庭問題・非行問題などについて話し合う場を提供しています。今年は子育て支援として、遊びながら親子や親同士のふれあいを深める「新米ママのつどい」を中心に活動しています。



江東区更生保護女性会 会長  
諸橋 章子さん

問合せ ☎ (3633)1800

**コーディネーター**



山本 加津子  
(男女共同参画審議会委員)

**パネリスト**



浅野 清(新六橋町会  
役員、江東区文化財ガイド員)



石田 佳寿美  
(パルシティ14階修了生)



中野 健司(広場開催  
時、育児休業中一級建築士)



村井 早苗  
(点訳「ソレイユ」代表)

第1部は宝井琴桜講師による歯切れのよい講演会「戦国武将と女たち」、第2部は「家庭で、地域で、女も男も輝くいい関係」をテーマに、5名の区民の方によるパネルディスカッションを行いました。



# 地域でイキイキ活動グループ

輝く江東の星々たちをご紹介——  
明るい地域づくりのために、区内で活躍しているいくつかのボランティアグループにお話を伺いました。

2007/7/7  
「とうとうパワーアップ広場」開催